



東京2020オリンピック・パラリンピックのメダルケースをデザイン 市内在住のプロダクトデザイナー吉田真也さん

市内在住で家具や日用品などのプロダクトデザイナーとして活躍されている吉田真也さんが、東京2020オリンピック・パラリンピックで使用されるメダルケースのデザインを手がけました。

吉田さんは、高校卒業後自動車整備士として勤務した後、専門学校でプロダクトデザインについて学び、2012年に独立してデザイン事務所を立ち上げました。

取引先の家具メーカーからメダルケースのデザインが公募されることを知り、強靱で木目の美しい北海道産のタモ材を素材として、大会のイメージカラーである藍色をケースの色に使い考案したデザインが見事採用。大会で使用する約5,400個のケースは全て手作りで制作され、一昨年

のメダルデザイン発表会でも吉田さんが手がけたケースが披露されました。

「メダルを獲得した選手が自国に帰り、現地のメディアに取り上げられたときにメダルと一緒に紹介されるのが楽しみです」と話す吉田さん。アスリート以外にも様々な人が、東京2020オリンピック・パラリンピックを陰で支えています。

吉田さんが参加予定の千葉県のオリンピック聖火リレーは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、7月2日開催の点火セレモニーに参加されます。



▲ケースをデザインした吉田さん(2019年9月撮影)

千葉県中学生女子選抜ソフトボール大会で 八千代選抜チームが7年ぶり3度目の優勝

市内中学校の女子選抜チームが、5月15日・16日に行われた第26回宍倉優勝杯争奪千葉県中学生女子選抜ソフトボール大会の決勝で松戸選抜を7-2で破り、7年ぶり3度目の優勝を果たしました。

選手の皆さんが市長および教育長を表敬訪問し、「合同での練習が1回しかできなかったの、始めは違う学校の選手同士で連携できるか不安でしたが、試合を重ねるうちにチームワークがうまく取れるようになりました。」と笑顔で優勝を報告しました。



▲見事優勝を果たした八千代選抜の選手の皆さん

市民伝言板 /

■大人のための語りの会 昔話から現代のお話まで盛りだくさん 6月20日(日)13時30分開演、勝田台文化センター。小学生以上対象、入場料無料、申し込み不要。語りの会やちよ・真鍋 ☎080-6502-4455 ✉manabe445@yahoo.co.jp

■ガキ大将の森キャンプ 野外炊事や工作など森の中で遊びます。3歳以上の子供と保護者対象。小学4年生以上は子どものみで参加できます。7月18日(日)10時~15時、ガキ大将の森。20人。1人500円。申し込みはファクスでガ

キ大将の森の会・千葉 ☎488-2283へ
■0~2歳児親子のためのクラシックコンサート 市内在住のバイオリニストによる親子のためのクラシック音楽のコンサート。動いても大丈夫、自由に楽しめます。7月3日(土)10時30分開演(10時15分開場)、勝田台文化センター3階ホール、全席自由。先着30組。子ども無料(3歳以上は入場不可)、大人1,500円、2人目以降1,000円、当日500円増し。申し込みは特定非営利活動法人子どもネット八千代・三浦 ☎486-4699へ(平日10時~16時)(市民活動団体支援金交付制度対象事業です)

ミニ・ガイド

■印旛沼観光船による印旛沼観察会 観光船に乗って印旛沼の観察や体験学習 ▶日時 7月20日(火)1回目9時~、2回目11時~、3回目13時30分~ ※各回とも、陸上講義45分、乗船30分 ※悪天候の場合は、翌日に順延 ▶集合場所 佐倉ふるさと広場 ※30分前から受付開始 ▶定員 各回24人 ※応募多数の場合は抽選になります ▶参加費100円(保険料込) ▶主催 公益財団法人印旛沼環境基金印旛沼水

質保全協議会 ▶申込方法 往復はがきに①希望回(第2希望まで)、②参加人数(一枚5人まで)、③参加者全員の氏名・年齢・性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号を記入して郵送 ※重複申し込み、希望回の記載がない場合は無効 ▶郵送先〒285-8533佐倉市宮小路町12番地(公財)印旛沼環境基金 ▶締切 7月2日(金)消印有効 ▶問い合わせ先(公財)印旛沼環境基金 ☎043-485-0397

リサイクル・ガイド

消費生活センター☎483-1151(代表)

●受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分~午後5時。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。【ゆずって・無料】▼給水冷風機▼小型冷蔵庫 ◆上記の他にも、市役所1階ロビーや市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

■広報やちよ6月1日号の訂正 広報やちよ6月1日号別冊5ページ「団体番号10八千代市三曲協会」の事業紹介の部分に記載漏れがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正します。 箏(こと)・三絃(三味線)・尺八…日本の伝統楽器による三曲合奏を楽しんでいただける演奏会です♪

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

かわづらを吊り上げること霧たちて新川おぼろ立春の朝 (萱田町) 吉田 仁子
漆黒の新川に映るさかさ絵とライトアップの河津桜よ (八千代台東) 伊藤 浩子
押印は必ず右に傾いて左利きだから仕方ないけど (天和田) 井上 正則
鉛やガム「おくれ」と舌かけ土間に入る戦後の村の仄暗き店 (桑納) 石上 文枝
年ふりて待ちかねし春小夜更けて窓の下辺に猫の呼び合う (萱田町) 三神 哲也
戦争は絶対にダメ次の世も昭和一心の願ひ (八千代台北) 石川 静子
試合中寄り来る蝶をそつと逃すなおみのしぐさ優しさ強さ (下市場) 村越喜美子
手を合わせ祈るがごとく擦り合わすウイルス除去のアルコール液 (八千代台北) 野原 隆志
新川の菜の花さきぬ代田辺雪の遠望姿をかくす (大和田新田) 小針 光

選評

一首目、春の新川の景で、「吊り上げること」の実景描写に作者の目を感じます。二首目、新川の幻想的な夜景で、地上の桜と川面の桜の、二重の桜の美しさを捉えたもの。助詞「と」を「も」に直すとそれが一層鮮明になります。三首目、左利きの人特有の作品で、驚きと共に納得します。「傾いて」を「傾けり」としますと、切れができて安定します。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

家飲みがどこまで続く今日もまた 大学町 林 茂一
大病の不安一掃水しぶき 村上団地 押切 卓郎
投手戦あくびしながらタオル振る 勝田台 八巻ちほこ
不具合にすぐ助け呼ぶメカ音痴 勝田台 板橋神無月
カード化に馴染めぬ父の尻財布 八千代台北 渡邊ひろし
藤棚でお抹茶すすりよもぎ餅 緑が丘 高畑 利弘
告白に波紋広げた新事実 村上団地 菊田差知子
踏みそうになった私の影法師 勝田台 阿部ふき子
コロナ禍の卒業これも宝物 八千代台東 向井譲り葉
ふたり膳余分に煮込むシチュー鍋 村上団地 手塚 俊子
米 本 木村つる子

防災無線自動電話応答サービス
0120(970)911
24時間以内の防災無線放送の内容を確認できます